



Answer?

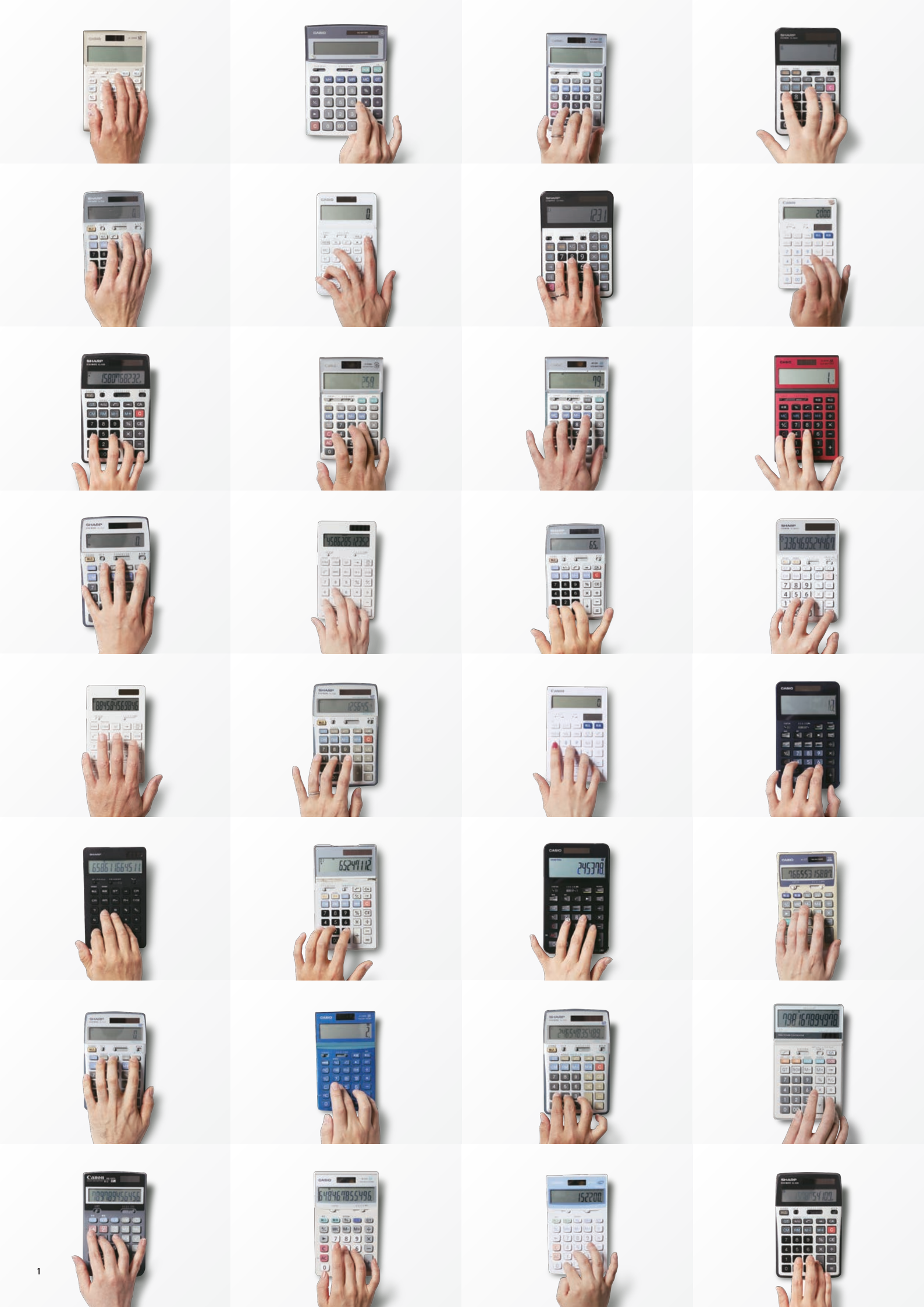


成長をサポートする価値のある監査を。



アーク有限責任監査法人

2020年度 職員募集



Answer?

計算で導き出される答えは1つだけ。

でも、数字から導き出す答えは1つだけではありません。

アークが取り扱う数字は企業の活力を示すもの。

その数字を見て、どんな答えを出すか。

答えを決めるのは一人ひとりの想いであり、

だからこそ、一人ひとりの答えがある。

アークの社員は、

一人ひとりが様々な熱い想いを込めて電卓を叩いています。

会計士として何を実現したい？

あなただけの想いを形にできるこの場所で、

共に業界のトップランナーを目指しましょう。

採用担当の想い × 新入社員の想い

二人三脚で掴んだ合格。
会計士として踏み出した一歩

採用担当の木村と新入社員の橋本が出会ったのは3年前の
アーク有限責任監査法人(以下、アーク)主催の個別説明会。
当時、橋本は大学3年生で、1回目の公認会計士試験を受けて間も
ない頃だった。しかし、その試験は不合格。橋本はそれから2年後、
3回目の試験で見事合格することになるが、その合格の裏には採用
担当木村の2年に渡るサポートがあった。木村は、孤独な受験生活
を勉強面から精神面まで総合的に支え、橋本が税理士法人と
迷っている時期も、アークでのアルバイトを提案し、監査業務の体験
ができるように企画をするなど、親身になってサポートを続けた。
そんな二人に当時の思い出や、アークの魅力について聞いた。

01 Yurika Kimura

2003年入社
監査業務部 パートナー

アーク有限責任監査法人採用担当パートナー、2017年より採用活動に携わっている。採用のモットーは「親切・丁寧」



02 Natsuki Hashimoto

2020年入社
監査業務部 ジュニア

大学3年生の説明会でアーク有限責任監査法人を知り、その3年後の2020年に入社。現在は新人研修を経て、現場で監査業務に従事している。



1. アーク独自の受験生のサポート体制

Q. お互いの第一印象は？

橋本:初めてアークを知ったのは、1回目の会計士試験後、学校法人大原学園で行われた合同説明会でした。当時は大手の監査法人しか知りませんでしたが、そこでアークのような中堅の監査法人がたくさんあることを知り、話を聞いて雰囲気良さそうだったので個別説明会に参加しました。

木村:橋本さんとの出会いは、アークの個別説明会です。橋本さんの第一印象は、落ち着いていて、自分をしっかり持っていて、将来性も感じました。アークに入ってくれたらすごく頼もしいなと、素直にそう思いました。

橋本:私にとって木村さんは、私生活のことも話せる親しみやすい方という印象でした。

Q. 合格までの2年に渡って、どのようなサポートをしたんですか？

木村:1回目の試験が不合格だと知って、その後どうするのか気がかりだったので連絡をすると、来年もチャレンジするとのことでした。アークは、興味を持ってくれてさえいれば、その年が不合格でも、翌年の合格に向けてサポートしようと考えているので、定期的に連絡をして、息抜きを兼ねて食事に行ったり励ましたりしました。

橋本:定期的に連絡くれたのはアークだけでした。友達が先に受かって一人で勉強していたので、食事に誘ってもらって、久しぶりに人と話せたことで良いリフレッシュになりました。

木村:2回目の試験が終わって合格発表までの間は、監査業務を体験したいと相談をもらったので、アークでのアルバイトを提案しました。アークでも初めての試みでした。

橋本:監査という仕事がどのようなものか知りたいと思い、合格発表までの3か月間アルバイトをさせてもらいました。大変貴重な経験をさせて頂きました。

木村:アルバイトの内容としては、監査に同行してもらい、監査に付随したサポート業務を手伝ってもらったり、実際にクライアントの方とお話してもらったりなど、会計士の“さわり”を体験してもらいました。橋本さんが入ってくれたらこんな風に一緒に働くんだと思ったら、こっちがワクワクしちゃって。でも彼女は当時税理士法人と迷っていましたね…(笑)

橋本:実は税理士法人にも興味を持っていたので、2回目の試験後は監査法人か税理士法人か、将来について、なかなか決められずにいました。でもアークでアルバイトをしたことで仕事や法人へのイメージが沸き、気持ちは監査法人に傾いていました。

Q. 勉強面でアドバイスしたことはありますか？

木村:2回目の不合格が分かったときに、橋本さんの成績表を見せてもらうと計算科目が悪かったんです。そこで私が受験時代に実践していた、試験日まで一日一問解くことを勧めました。

橋本:計算問題の数をこなすうちに、想像以上に成績が上がりました。

Q. 木村さんの存在が支えになりましたか？

橋本:そうですね。とても親身になって自分のことのように心配してくれていて。落ちたと伝えたときも、励ましのメールを頂きました。

木村:何てメールに書いたらいいか分からなかったけど、橋本さんに元気に立ち直ってもらいたいという気持ちでメールしました。

橋本:ダメだったときの連絡も、自分から言わなくても連絡を頂けて、すごく嬉しかったです。

2. 3度目の正直で合格。入社後の仕事内容

Q. 3回目の試験に合格したときは、よっぽど嬉しかったのでは？

木村:すごく嬉しかったです。たぶん橋本さん以上に私がドキドキしましたね。あらかじめ受験番号を聞いていたのでネットで確認して、すぐに電話しました。

橋本:ネットで受験番号を見つけましたが、嬉しくて信じられなかったです。金融庁でちゃんと名前を確認してから連絡しようと思い、向かっている最中に木村さんから連絡が来ました。やっと受験が終わって会計士としての一歩を踏み出すことができる、ということにほっとしたのを覚えています。

Q. 入社後、どのような業務に携わっていますか？

橋本:1月に入社後、最初の2週間は研修が主でした。エクセルの基本的な操作を教わったり、社会人のマナー研修を受けたりして、それから現場に行くようになりました。

木村:そうですね。基本的な監査の調書の作り方や、書類作成のやり方を研修で教えて、そのあとはドンと現場に送り出すスタイルです。監査現場では、年次の近い先輩から書類の見方や質問の仕方、作った書類のレビューなどの指導を受けることで、実際の監査業務を学んでいきます。

Q. 入社して数か月ですが、成長しましたか？

木村:とてもたくましくなったと思います。

橋本:本当ですか？自分では全然感じてないです(笑)

木村:社会人としての基本を忠実に取り組み、1年目としてちゃんと成長してくれていますね。

3. アークの魅力と今後の展望

Q. アークの魅力は？

橋本:優しい人が多いです。まだ分からないことが多くて、頻繁に質問してしましますが、本当にみなさん優しく答えて頂けます。

木村:アークの魅力はやっぱりワークライフバランスの充実ですね。22時にオフィスが閉まるので、繁忙期でも遅くまで仕事ができない環境になっています。他にも、有給消化を管理する部門があって、休暇が取りやすい環境にあります。

Q. 最後に、今後の目標をお聞かせください。

橋本:現場に行くと、海外取引のあるクライアントでは英語の資料が出てきます。英語をもっと勉強して、英語の資料でも自分で理解できるようにしたいです。

木村:クライアントは日本企業が多いですが、子会社が海外進出していたりすると、監査の書類が全部英文で出てきたりするので、意外と英語を使う機会はありますね。今はまだ新人なので一部分しか見えないと思いますが、色んな業務を一つずつ経験していくことで、仕事の関連性が分かってきて、監査が面白くなってきます。そして監査は人と話をする職業なので、人と人との関係の中で、監査の喜びを分かってもらえたらいいなと思っています。



03

Hayato Mashiko

2019年入社 監査業務部 ジュニア



04

Miwa Kojima

2016年入社 監査業務部 シニア



05

Yuta Yamaki

2011年入社 監査業務部 マネージャー



06

Norikazu Shibuya

2019年入社 監査業務部 パートナー

入社を決めた理由

元々は大手の監査法人を志望していましたが、残念ながら縁がありませんでした。そこで、中小の監査法人を探しました。そんな中、受験予備校のメールを見て試験後に参加した合同説明会での印象が良かったことを思い出し、最初に面接を受けたアークへの入社を決めました。

今までで一番やりがいがあったこと

2年目の期末監査で、監査上なぜそのリスクを認識したのか理由が分かるようになったことです。監査手続がリスクに対応していることや、実施目的や必要性が分かるようになり、1年目に比べて監査に関する理解が格段に深まったと感じました。また、2019年合格者の入社歓迎会の企画を担当したのですが、そちらもやりがいがありました。

ARKの魅力

早い年次から色々な経験ができること、それをサポートするために先輩方が丁寧に教えてくださることです。また、パートナーと接する機会が多く、ランチタイムや業務時間に話をする機会が多いです。ゆえに仕事に関する情報を歴戦の匠から聞ける機会が多いことがアークの大きな魅力です。

今後の目標

上場会社の主査を経験することが目標です。監査も一種のプロジェクト業務であると思うので、業務を円滑に進めること、採算管理、スケジュール調整、チーム内のコミュニケーションがとりやすい環境を作ること、会社とのコミュニケーションの窓口になるなど、監査以外の分野でも役立つ経験をしたいと思っています。

後輩へのメッセージ

私を含め、アークのメンバーは皆様をお待ちしています！また、就職活動期間は、会計士として、人間としての可能性を探るいい機会となります。積極的に先輩方の話を聞いて、遠慮をせずにたくさん質問してください。そうして、自分がやりたいことは何か、それが叶う可能性が高い場所はどこなのかを探りましょう！！



入社を決めた理由

論文試験の合格後、某大手監査法人に入所し、数年間在籍した後、一般事業会社を経て、アークに転職しました。当時まだ保育園に通っている息子との時間を確保する為、アークへの転職活動において最も重視したのはワークライフバランスでした。アークの面接官の方がとても感じが良く、安心して入社することが出来ました。

今までで一番やりがいがあったこと

一番はコレ、と言い切れないのですが、特にリスクが高かったり、新規のクライアントで一から手続を選定するとか、より緊張感を高めて担当したクライアントの審査が無事終了したときは、やりがいを感じます。苦しい仕事をやり上げた後は清々しい気持ちになります。

ARKの魅力

若い年次のうちから裁量の多い仕事を任されること。大手監査法人と比べて規模の小さいクライアントから大規模のクライアントまで多彩にあるので、若手は大手より早くクライアントのインチャージを経験できます。また、常に自分に見合った実力+αの仕事振られる気がします。自分で考えながら仕事を進めるので成長を実感できます。

今後の目標

感覚的に監査業務を行うのではなく、監査計画に沿って一貫性があり、社内外に説得力を持った監査手続を選定・実施すること。そういった業務の積み上げで、相談やお願いをするならこの人に！と言われるような、信頼される会計士になりたいです。将来的には、監査以外にも業務の幅を広げていければと思っています。

後輩へのメッセージ

試験お疲れ様でした。発表までの期間は、大手から中小まで色々な監査法人を積極的に回ってみてください。諸先輩方のお話を伺ういい機会です。将来的に、自分がどういう会計士になりたいのかイメージが膨らみ、今後のモチベーションアップにつながります。皆様の吉報をお待ちしております！



入社を決めた理由

私がアークに入社したのは、リーマンショックの余韻が残り日本経済が低迷している時代でした。新型コロナウイルスにより、経済が混乱している現在と似ているかもしれません。当時は監査法人に就職することすら難しい状況でした。そんな時に会ったのが、中小監査法人でありながら、特に優良なクライアントを有していた現在のアークでした。

今までで一番やりがいがあったこと

クライアントからの相談事項に適時かつ適切に対応できた時です。クライアントは優秀な方が多く、相談事項といっても一筋縄ではいかないことが多いです。だからこそ、無事に解決して感謝された時のやりがいは何事にも代えられません。その前に、まずは相談をしてもらえるような関係を築くこと！これが難しいんですけどね。

ARKの魅力

中堅規模の監査法人ということもあって、仕事をどんどん任せてもらえるのでやりがいがあります。早ければ12でインチャージ業務を任せられたり、組織の運営に携わったりしているスタッフもいます。一方でワークライフバランスを重視していることもあり、スタッフの体調面等を最優先に考え、適度な休暇やテレワークの活用を積極的に推奨しているところも魅力です。

今後の目標

クライアントから信頼され、その信頼を維持できる会計士になることです！！ありきたりではありますが、これって非常に難しい目標だと思っています。信頼を得るまでは大変な労力を必要としますが、失うのはあつという間なんですよ。クライアントとの適切な距離感というのを常に意識して業務に取り組んでいます。

後輩へのメッセージ

今年の受験生は試験日程の変更等、いつ終わるか分からない生活に大変な苦労があったと推察します。この状況を諦めずに乗り越えたことは今後の会計士人生において、決して無駄にはなりません。無意識のうちに業務を遂行するうえで必要な精神力や忍耐力が鍛えられています。皆様がこの力を引き上げてアークに入社されることを心待ちにしています。



入社を決めた理由

アークに入社する前は大手監査法人に勤務しておりました。大手監査法人では上場会社を中心とした監査業務及びアドバイザリー業務に従事しておりましたが、よりクライアントの経営層に接する機会が多い中規模会社の監査も実施できることに魅力を感じ、入社を決めました。

今までで一番やりがいがあったこと

会社の経営層と接する機会が増え、会社の目指す方向性の理解度を高められることがやりがいです。また、法人の国際委員会に所属しており、2019年にインドで開催されたKRESTON world conferenceに出席することで、KRESTONグループに所属するメンバーと交流を深められたことにやりがいを感じました。

ARKの魅力

仕事については、早い段階から重要な仕事を任せることが多く、個人の成長を求める環境は十分に整備されていると思います。また、法人内の人員数も適度な規模であり、職員の顔が見える状態で業務を行うことができます。また、各種委員会が設置されているため、早くから法人の経営に参画できることも魅力と感じています。

今後の目標

監査業務はもちろんですが、監査以外の様々な業務にもチャレンジしていきたいと思います。興味がある業務にチャレンジする環境は整備されているので、昨日の自分に勝るようチャレンジし続けることを目標にして、常にイノベーションを行う発想を大事にしていきたいです。その延長線上に法人の発展があると思って業務に取り組んでいます。

後輩へのメッセージ

試験大変お疲れ様でした。監査法人を選ばれる際には何を重視するか検討されると思います。何度も言いますが(笑)、アークは個人の成長を促す環境が整備されています。新しいことにチャレンジしたい方には是非来て頂きたいですね。会計監査人は最強のコンサルタントです。コンサル能力を磨くべく、共に働きませんか？お待ちしております。





07

Naoki Kishida

2020年入社 監査業務部 ジュニア



08

Chihiro Maruyama

2011年入社 監査業務部 マネージャー



09

Takero Miura

2015年入社 監査業務部 シニア



10

Hayato Matsumoto

2011年入社 監査業務部 パートナー

入社を決めた理由

私は大手や中小といった規模に対するこだわりはなかったため、大手のみならず中小の監査法人の説明会にも参加していました。アークに決めた理由は、採用担当の方の人柄や接し方が丁寧で親しみやすく、一緒に働きたいと感じたからです。また、ワークライフバランスに力を入れているということも決め手の一つになりました。

今までで一番やりがいがあったこと

どの作業も初めての時はとても緊張すると共にやりがいを感じます。今まで経験した中で一番やりがいを感じたのは、銀行残高確認状の発送から回収までを担当したことです。クライアントの方や銀行の方への対応などでとてもやりがいを感じました。また、監査現場で質問する際などクライアントの方とコミュニケーションを取る時に特に感じます。

ARKの魅力

約半年間この仕事をしてみて感じた魅力は、実際の企業の仕組みやバックヤードの一部を見ることができることだと思いました。そして、アークではクライアントの規模や業種も幅広く、様々なクライアントを経験できる点が魅力だと思っています。その他にも、事務所が新宿にあるというのも交通の便が良く魅力の一つだと思います。

今後の目標

まだまだ、分からないことだらけで、今は自分の分担の作業で精一杯な状態ですので、目下の目標は過去の調査より少しでも良い調査を作成できるようになることや、自分の分担以外の作業を積極的にサポートできるようになることです。今後の目標は、アークで様々な経験を積んで一人前の公認会計士になることが目標です。

後輩へのメッセージ

試験結果が分らず不安感がある中で、また、今年は新型コロナウイルスの影響で試験期間がずれて例年とは違った時期の就職活動になる中で、就職説明会に行くことは大変だと思います。しかし、試験結果に関わらず就職説明会に行くことは大切だと就職活動中に感じました。是非、アークの就職説明会に足を運んでみてください。



入社を決めた理由

私が論文式試験に合格した年は、就職氷河期であり、当初、大手監査法人への就職活動をしていましたが、いずれも不採用でした。そんな中、公認会計士試験を志した理由でもある“色々な会社を見られる「監査」をしたい”という想いから、中小監査法人へ就職活動を行い、内定を頂いたのが、アークでした。

今までで一番やりがいがあったこと

自分がインチャージとして初めて関わった会社の経営状況が悪化しており、これを的確に把握するための監査手続を自ら考え、実施していく中で、“会社とは人であり、会社がどのような状況にあるかという判断には、様々な経験や知識が必要”と実感しました。この経験は、社会人としても監査人としても貴重なものだったと考えています。

ARKの魅力

もうすぐ勤続10年となりますが、その間に2度の出産を経ています。その中でも、監査の経験もしっかりと積みながら、出産育児ができたのは、周囲の理解や気遣いを頂いているからであると強く感じています。担当クライアントについても、居住地を考慮していただけており、感謝しています。

今後の目標

アークは地方オフィスも開設し規模を拡大しています。このような状況にあっても、基本は監査業務をしっかり行うことが大前提であり、それを実行していくには後進の育成が不可欠であると考えています。少しでも法人の力になるため、努力を重ねていきたいと思っています。

後輩へのメッセージ

今年の論文式試験受験者の皆様は、新型コロナウイルスの影響がどうなるのかわからない中で受験となり、その心中は不安であったことが想像されます。本当にお疲れ様でした。どうかご自身の納得できる形での就職活動となるよう、自分自身で考え行動し、未来を切り開いていただければと思います。



入社を決めた理由

発展途上中である会社のため、色々な意見を取り入れて会社と共に自分も成長できる環境だと思ったからです。前職では様々なプロセスが事細かに決められており、そこに疑問を持った場合にも「いいからやれ」といった指示の下、嫌々ながら実施することが多かったため、そういった環境が無いアークは自分に合うと思いました。

今までで一番やりがいがあったこと

内部統制や会計処理方法について、クライアントと一緒に組み立てていったことが一番記憶に残っています。一緒に作り上げていくことでクライアントとの距離が近くなり、進捗があった時の感動も大きくなります。全ての案件が関与期間中に終わるわけではありませんが、クライアントにメリットのある成果を上げることで距離もより近くなっていきます。

ARKの魅力

自分の意見を言えることもそうですが、社員との距離も近いことも魅力の一つです。監査従事者がそこまで多い会社では無いので、社員も作業員として現場に入ることも多く、すぐに方針や疑問点などを相談することができます。それでいて、自分の考えをきちんと説明をすれば頭ごなしに命令をする人もいないため、とても魅力的だと思います。

今後の目標

クライアント目線に対応をし、決して単なる批評家にはならないことを継続的に実施していきたいです。監査人という立場は、会計処理方法等の誤りを指摘して修正を依頼することが多いため、勘違いしてしまうことも多いと思うのですが、決して偉いわけではないので自分を律して驕らずにいたいと思います。

後輩へのメッセージ

悔いの無いように行動をしてもらえればと思います。何となくで自分の考えを持たずに行動してしまうと、意外と長続きしなかったりします。自分のビジョンを明確にして、どうしたいからの会社に入りたい又は開業したいといった行動を取ればちゃんと結果はついてくるはずです。結果、一緒に働くことが出来れば皆様を歓迎致します！



入社を決めた理由

クライアントとの距離が近く、クライアントとコミュニケーションを図りながら進める監査スタイルに魅力を感じました。また、監査の品質を高めながらも効率化を図り、職員のプライベートを大切にしている点にも共感しました。魅力ある監査法人創りとアークの成長に少しでも貢献したいと思い、入社を決めました。

今までで一番やりがいがあったこと

リクルート責任者として昨年の採用活動を通じて、非常にたくさんの受験生と触れ合う事ができました。アークの魅力に惚れて多くの受験生が面接に来てくださり、入社を決めてくださった新人の方々から「アークに決めて良かったです」と言われた時に一番のやりがいを感じます。今年も新しい出会いを楽しみにしています。

ARKの魅力

トップのビジョンが明確でスピード感があるので気持ちいいです。また、面倒見の良い先輩が多く後輩への指導が丁寧で研修も充実していますし、監査ツールの開発や監査の品質管理もしっかりしているので、長く安心して仕事ができ、一人ひとりが成長できる環境が整っていることだと思います。

今後の目標

監査上の主要な検討事項(KAM)や収益認識会計基準の適用に向けて、クライアントとのコミュニケーションをより一層図っていくことが目標です。採用活動では、たくさんの良い出会いに恵まれるよう、受験生一人ひとりの立場や気持ちに寄り添い、親身に接していきたいと思っています。

後輩へのメッセージ

受験生の皆様におかれましては、試験日程の変更でモチベーション維持や健康管理が大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。今年の採用予定人数は昨年の2倍を予定しています!!まずはアーク主催の法人説明会や監査体験会、懇親会にご参加頂きアークの雰囲気を感じてみてください。皆様にお会いできることを楽しみにしています。



Message

会計士を志す皆様へ

今までにない激動の1年を送ることになった皆様、まずは、本当にお疲れ様でした。
試験日程の変更や受験勉強期間の延長で、モチベーションの維持や健康管理に
苦労なさったことと思います。この状況でも諦めず無我夢中で乗り越えたことで、
精神力や忍耐力など、社会人になっても必要とされるものが磨かれています。
皆様の努力が実を結ぶことを、私たちは強く願っています。



この経験によって一回り大きくなった皆様だからこそ、就職活動もきっと満足が
いくものにできると思います。だから、しっかりと考えて、たくさんの会社を見てくだ
さい。どんな環境で働きたいか。どんな会計士になりたいか。一人では難しければ、
周りの方の意見も聞いてみましょう。たまには息抜きもしたりして。
そうして導き出した答えに、アークを選んで頂けたら、とても光栄に思います。

アークは、皆様に約束します。成長したい方、チャレンジしたい方の期待に応え
られる環境を提供します。クライアントを想い、同僚を想い、家族を想い、自らの
成長を願って、日々の業務と向き合う。そんな風に一人ひとりが誠実に、誇りを
持って働ける職場であり続けます。

私たちと共に、あなたの想いを形にいきましょう。

法人名	アーク有限責任監査法人
所在地	〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-3 廣和ビル 電話 03-3342-5967(代表) FAX 03-3342-5972
理事長	三浦 昭彦
設立	1982年8月
事業内容	●会計監査 ●その他サービス (株式公開支援、IFRS導入支援、内部統制構築支援、公会計 部門における各種支援業務等)
海外提携先	クレストン・インターナショナル (KRESTON International)

構成人員	男性	女性	合計
代表社員	7	0	7
社員	31	1	32
公認会計士	39(15)	18(4)	57(19)
公認会計士試験合格者	19(1)	4	23(1)
USCPA資格取得者	2	1	3
USCPA試験合格者	1	1	2
ITその他専門職員	2	0	2
監査事務スタッフ	0	8	8
その他	2(1)	10	12(1)
合計	103(17)	43(4)	146(21)
※()は非常勤、内数			

2020年7月1日時点

